適合評価番号　13－DIS－002号

ディスポーザ排水処理システム

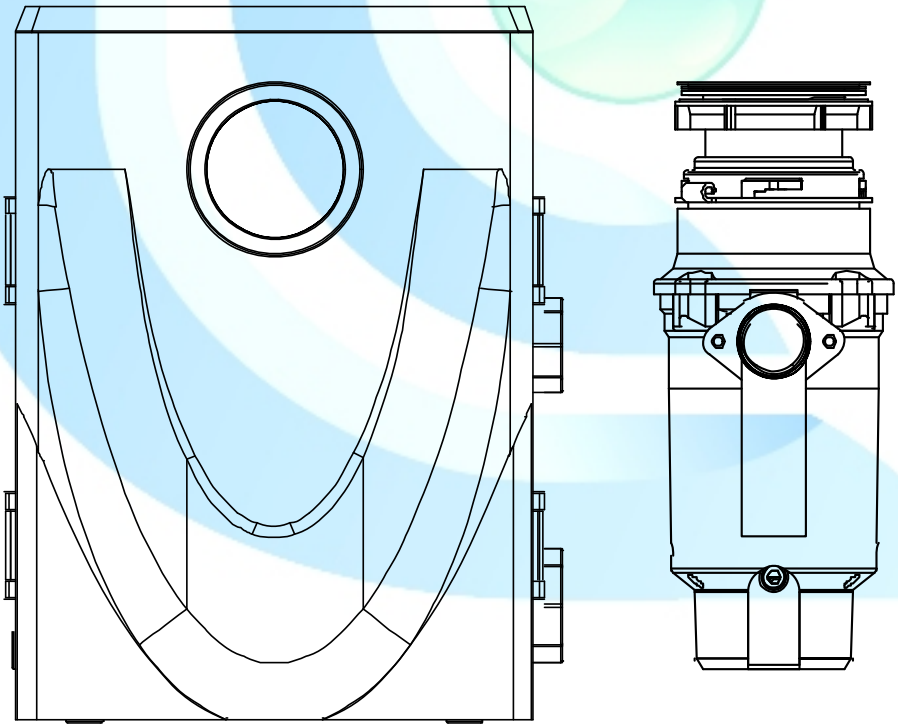
LaClear

― ラクレア ―

取扱説明書

型番　ディスポーザー：M188

分解処理槽：LC13W



LIFECOUNTER

株式会社　ライフカウンター

目　次

ラクレア各部名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
安全上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２
使用上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３
処理できないもの・工夫が必要なもの　・・・　４
使用方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５
お手入れの仕方／安全装置の種類 ・・・・・　６
操作パネル ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７
メンテナンス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８
故障かな・・・？と思ったときは・・・・・・・・・・・　９
ディスポーザーのリセット・・・・・・・・・・・・・・・　１０
仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１
保証・アフターサービスについて ・・・・・・・・　１２
保証書　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１３

はじめに

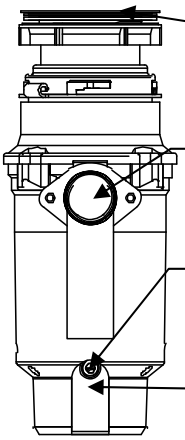
このたびは、株式会社ライフカウンターの『ラクレア』をご購入頂き、誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、ディスポーザ排水処理システム『ラクレア』の正しい使い方やトラブルがあった時の対処法などを説明しています。

1、本製品をご使用の前に、必ずこの取扱説明書をよくお読み頂き、正しくご使用下さい。
2、取扱説明書は、保証書と一緒にいつでも取り出せる所に大切に保管してください。
3、本製品を最良の状態でご使用頂くために、専門の技術者による年1回の定期保守点検が義務付けられています。
4、お客様がお住まいの下水道管理当局からの指示により、お客様が本製品をご使用になる前に、維持管理業者又はその指定業者と維持管理契約を交わして頂くことが、使用の条件となっております。

お客様のご理解とご協力をお願い致します。

各 部 名 称

ディスポーザー



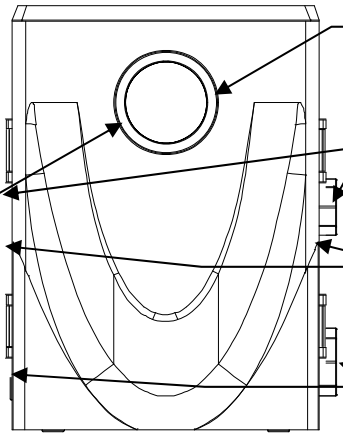
生ごみ投入口

粉砕生ごみ排出口

電源コード

リセットボタン

分解処理槽



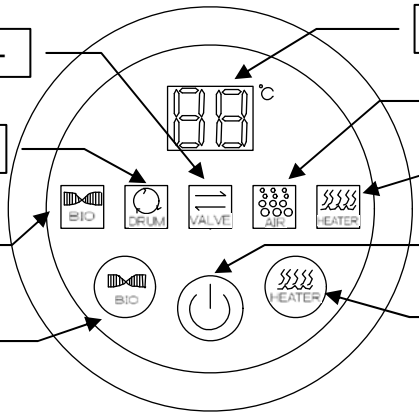
操作(表示)パネル

入水口

前面カバーロック

排水口

分解処理槽操作(表示)パネルの詳細



切り替えバルブ用モーター

ドラム用モーター

バイオ残量

バイオ投入ボタン

槽内温度表示

エアポンプ

ヒーター

電源ボタン　ＯＮ／ＯＦＦ

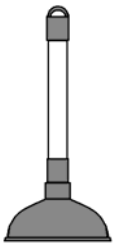
ヒーターボタン　ＯＮ／ＯＦＦ

付属品

ふたスイッチ

スプラッシュガード
（菊割れゴム）

止水栓



ラバーカップ

安全上のご注意 （※必ずお守り下さい）

●お使いになる人や他人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守り頂く内容を説明しています。

◆表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危険や損害を説明しています。

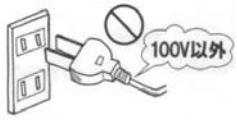
⚠ 警告	誤った使い方をすると、「死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。
⚠ 注意	誤った使い方をすると、「障害または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

⚠ 警告

◆電源、および電源コードについて

●本機は家庭用電源で、交流100ボルト（AC100V）電源コンセント以外には、つながないで下さい。
火災や感電、怪我の原因となります。

●電源コードを束ねたり、無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったり、重いものを上に乗せたりしないで下さい。火災や怪我の原因となります。



◆傷んだコードや電源プラグ・ゆるんだコンセントは使わない。

●ショート・漏電・加熱・感電・発火の原因となります。

◆電源プラグはコードを持って抜かない。

●コードが傷み感電や、ショートして発火することがあります。必ず電源プラグを持って抜いて下さい。

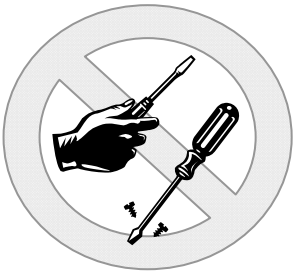
◆濡れた手で電源プラグを持たない。

●感電や怪我をすることがあります。

◆分解・改造・修理しないこと

●本製品を開けて分解したり、改造しないで下さい。感電や怪我の原因となります。

●お客様ご自身による修理は絶対おやめ下さい。修理は指定工事店にご連絡下さい。



◆次の場合は、ただちに電源プラグを抜き、当社又は指定工事店に連絡して下さい。そのまま使い続けると、火災や感電、怪我の原因となり危険です。

●異常な音がする、変な臭いがする。

●電源コードが傷んだ場合。

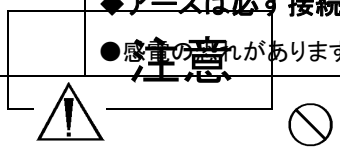
●コードを動かすと、通電したりしなかったりする。

●その他異常、故障がある。

◆お子様にスイッチ操作を絶対にさせないで下さい。

●小さなお子様がいらっしゃる場合は、フタスイッチを手の届かない場所

◆旅行や出張で長期間使用しない時は、電源プラグを抜いておいて下さい。 ●絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となります。	に保管して下さい。
	◆アースは必ず接続し、使用してください。 ●感電のおそれがあります。



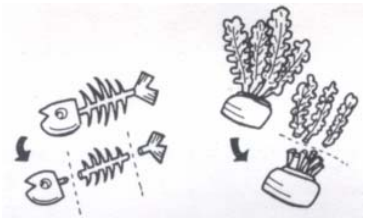
この記号は禁止行為を表しています。

使 用 上 の ご 注 意

①スプラッシュガード（菊割れゴム）を正しく固定してください。

ディスポーザーを使用する際、スプラッシュガードを外しますが、ディスポーザーを使用後スプラッシュガードを再度ご使用になる時、正しく固定されないと、異物が生ゴミ投入口からディスポーザーの内に落ちてしまい、内部が破損してしまうことがあります。再セットする際は真っ直ぐ固定位置まで差し込んで下さい。

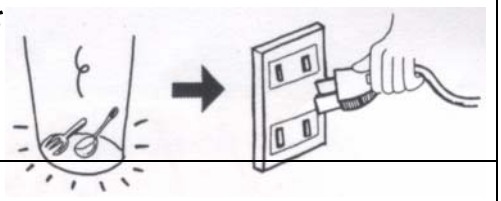
②生ゴミは一度に大量に投入しないで下さい。（朝、昼、晩その都度発生した生ゴミを
その場で投入処理するようにして下さい。）



大きな生ゴミは、ディスポーザーに簡単に入る程度（大きくても3cm程度）に切った上で，
投入して下さい。
一種類の生ゴミだけを大量に投入することは避け、色々な生ゴミと混ぜて投入して下さい。
1 日に決められた量以上の生ゴミを投入しないで下さい。
1 日1.5kg、1 回の投入を最大750gまでにして下さい。これ以上投入するとモーター及び分解に悪影響を与えます。

③ディスポーザーを使用する時は、洗剤を使った食器類の洗い水や溜水、
漂白剤、多量の油分を流さないで下さい。
分解処理槽の中へ洗剤が流れ込み、バイオへの悪影響を避けるためです。
下水道に悪影響を与えるものは、できるだけ流さないよう心がけましょう。

④ディスポーザー内に金属類、ビニール、金たわし、輪ゴム、プラスチック類等が
落下した場合、または生ゴミが詰まった場合等は、安全のため電源プラグを
抜いてから異物を取り除いて下さい。
特に金属類がディスポーザーに入ったまま使用すると、故障の原因になります。



⑤流し台に高温の湯や、油を続けて流さないようにして下さい。
配管部品の変形、劣化により、水漏れの原因になります。

⑥ディスポーザーのリセットボタンをテープなどで固定しないで下さい。
感電、火災、やけどの恐れがあります。
リセットボタンを戻すときは、前もってコンセントからプラグを抜き、電源が入っていない事を確認して下さい。
不測の動作により、怪我をする恐れがあります。

⑦使用直後はモーターが発熱しているため、ディスポーザーに触らないで下さい
やけどの恐れがあります。

⑧ディスポーザー、排水管、ホース等を引っ張ったり、外したり、取り付け位置を動かしたりしないで下さい。
水漏れ、臭い漏れ、故障等の原因になります。

処理できないもの・工夫が必要なもの

※処理できないもの　下記のもの（無機物）は処理できませんので絶対に投入しないで下さい

次はディスポーザーで破砕できないか、ディスポーザーやホース等に詰まりやすいもの、
又は、分解処理槽で処理できないものです。トラブルの原因になりますのでご注意下さい。

種類	例	理由
食品以外のもの	ブリキ・缶・スプーン・ビンの蓋のような金物類・ガラス・ナイロン・ビニール・アルミホイル・ラッププラスチック・皮革・ゴム・布・陶磁器・薬品類・紙類・割り箸・楊枝・タバコ・砂・土・石など	ディスポーザーで破砕できない。 ディスポーザー内に残留してしまう。 分解処理槽で処理できない。
無機物 硬いもの	アサリ・シジミ・ハマグリ・カキ・サザエ・アワビなどの硬い貝殻類　・　鳥、牛、豚などの骨 ももタネ・梅干のタネなどのタネ類　・　たまごの殻	大きな貝殻・骨・タネは破砕できない。 貝殻は流れにくく、ホース等の詰まりの原因になる。 分解処理槽で処理できない。
大量の油類 大量の塩分	サラダ油・天ぷら油など 多量の生クリーム　多量のマヨネーズ	油類が固化して、ホース等の詰まりの原因になる。 分解処理槽及び浄化槽の負荷が大きい。
高温のもの	熱湯・高温の油・スープ・味噌汁など	ディスポーザーのモーター・ホース等が変形する恐れがある。バイオの働きに負荷が加わる。

◇基本的に人や動物が食べられないもの（無機物　）は、ディスポーザー内に投入しないで下さい。◇投入して良いものは、基本的に人や動物が食べられるもの（有機物・生ゴミと言われるもの）です。

※ディスポーザーに入れるとき、工夫が必要なもの

次は、単体で大量に処理すると、ディスポーザーやホースに詰まりやすいものです。
以下の内容を良く守り、正しくお使い下さい。

種類	例	理由	工夫
固い繊維質のもの	バナナのへた・枝豆・タケノコの皮・パイナップル・キャベツ、とうもろこしの芯・皮など	細かく破砕できないため繊維がホース等に詰まる可能性がある。 分解処理に時間が掛かる	3㎝程度に刻んで入れて下さい。 **出来れば入れないで下さい。**
弾力性の強い物	肉や魚の皮、 鳥の皮など	弾力性が強いため破砕されにくい。	少しずつ他の生ゴミと混ぜながら入れて下さい。 小さく刻む、又はお湯にくぐらせて下さい。
粘りつくもの	柔らかい餅など	外壁や底辺部に粘りつき、破砕されにくい。	少しずつ他の生ゴミと混ぜながら入れて下さい。
軽くて水に浮くもの	タマネギの皮、 ピーナッツの皮など	水に浮いてしまい、ハンマーにと届かず、破砕されにくい。	少しずつ他の生ゴミと混ぜながら入れて下さい。

※大量投入禁止

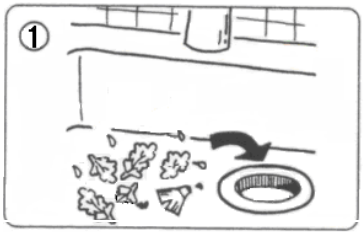
次は分解処理に時間が掛かるものです。下記のもの以外でも単品生ゴミを1度に大量投入せず、他の生ゴミと混ぜて投入して下さい。

バナナ、みかん、グレープフルーツ、メロン、パイナップル、ブドウなど果物の皮・ブドウの房・りんごの芯・コーヒー豆の糟・お茶の葉・カニ、エビの殻・カレーなど

使 用 方 法

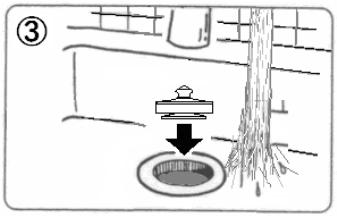
操作の手順　始めに投入する生ゴミの量を確かめて、本製品で分解処理できないものを取り除いてから使用して下さい

フタスイッチタイプ

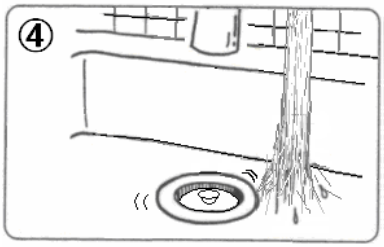


生ゴミを排水口に投入して下さい

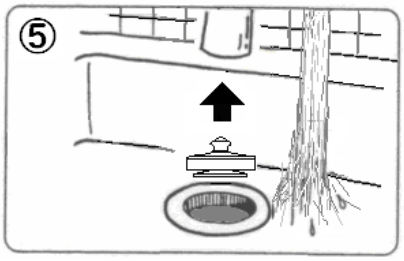
生ゴミの破砕中はできるだけ多めの水を流し続けて下さい



フタスイッチを排水口に入れるとディスポーザが作動します。



ディスポーザー内の生ゴミが完全に破砕されるまで、ディスポーザを作動させて下さい



生ゴミが完全に破砕されるとディスポーザーの回転音が軽くなります。しばらくしてからフタスイッチを外してください

生ゴミの破砕が終わって、約5秒後に水を止めて下さい

生ゴミ分解の流れ

（1）食器を洗った時の水は、ディスポーザーを経由して直接下水道に排水されます。
（2）ディスポーザーのスイッチONで切り替えバルブが作動し、自動的に生ゴミを迎え入れる状態に設定され、粉砕された生ごみが水と一緒に分解処理槽へ流入されます。
（3）ディスポーザーのスイッチをOFFすると3秒後に切り替えバルブが作動し、自動的に分解処理槽の方へ水が流入されないように閉じてしまいます。
（4）流入した生ごみは、ドラムの中でバイオ着床材と混ざり合い、分解に入ります。

（注）生ゴミの分解を効果的に行うため、バイオがなくならないよう、定期的に残量を確認して下さい。

本製品に投入できる生ゴミの量は1日に最大1.5kgまでです。
又、1回に投入できる生ゴミの量は最大750gを目安にして下さい。
生ゴミの投入は、朝・昼・夜に分けて正しくお使い下さい。

お手入れの仕方

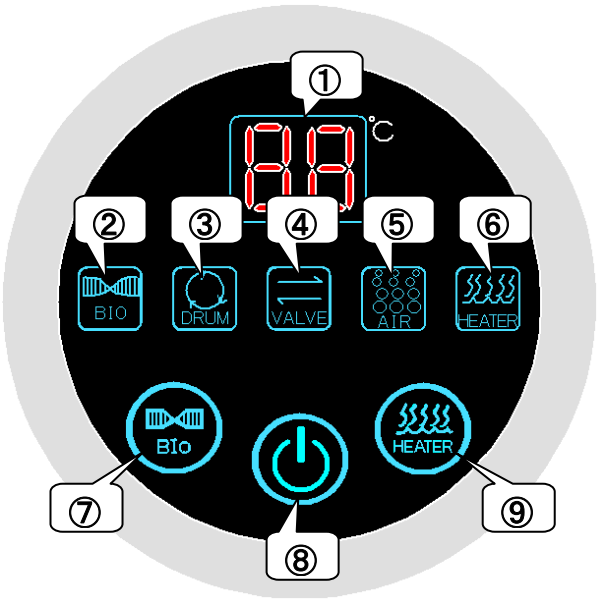
① 氷をディスポーザーに入れて水を流しながら破砕すると、ディスポーザー内部及び配管の洗浄になります。できましたら氷で洗浄後、温水でディスポーザーを 5 秒程度回して頂くと分解処理槽内バイオに有効です。

②スプラッシュガード（菊割れゴム）、止水栓（溜水をする場合のフタ）、フタスイッチ等を洗う場合は、家庭用の中性洗剤をご使用下さい。

安全装置の種類

過熱防止機能	故障や異常等により万が一分解処理槽内の水温が45℃を越えた場合、安全のためヒーターは停止します。この時、パネル⑥のヒーターランプが赤く点滅し、警報音が『ピッピッピッ・・・』と鳴り異常を知らせます。
旅行・出張中のシステム停止機能	72時間ディスポーザーを使用しないでいると、安全のためシステムが一時停止するようになっています。この時装置はスタンバイ状態となっており、再度お使いになる時はディスポーザーを使用するか、直接分解処理槽のパネル⑧の電源ボタンを長押しますと、今までと同様にお使いになれます。 スタンバイ状態中は電源ランプ（青）が点滅しています。
ディスポーザーの安全装置（リセットボタン）	ディスポーザー内にスプーンやプラスチック類等、硬い物が落下した時に、ディスポーザーを使用すると、安全装置が働きディスポーザーが作動しなくなります。（P10 参照） （異物がターンテーブルに噛み込んで負荷が掛かった場合）
停電時	停電や、ブレーカーが落ちた時は電源が切れ、停電復旧後にブレーカーを上げたときは、装置が直前の状態を記憶しているので、電源が切れる前の正常な状態に戻ります。

操 作 パ ネ ル



①槽内温度表示

分解処理槽内部の水温を表示します。

②バイオ残量（通常時→青色表示　異常時→赤色表示）

バイオ残量が200cc(残り1ヶ月分程度)になりましたら赤色表示に変わります。また残量が200cc以下になったらアラーム(ピッピッ)でお知らせします。

③ドラム用モーター（通常時→青色表示　異常時→赤色表示）

ドラム用モーターの異常を知らせます。

④切り替えバルブ用モーター（通常時→青色表示　異常時→赤色）

切り替えバルブ用モーターの異常を知らせます。

⑤エアポンプ（通常時→青色表示　異常時→赤色表示）

エアポンプの異常を知らせます。

⑥ヒーター（通常時→青色表示　異常時→赤色表示）

分解処理槽内部の水温が45℃以上になった時知らせます。

⑦バイオシャワー投入ボタン（青色表示）

3秒以上長押しで、バイオシャワーが15cc投入されます。

長期間の旅行や留守をされていた後、数日ぶりに使用される場合押してください。

⑧電源ボタン　ON／OFF（電源ON時→青色表示　電源OFF時→青色点滅）

コンセントを差し、主電源を入れると電源ボタンが青色で点滅します。電源ボタンを長押し(3秒以上)すると電源が入り、生ごみの分解に入ります。電源は常にON(青色点灯)になっていることを確認してください。

⑨ヒーターボタン　ON／OFF

冬期対策としてヒーターが組込まれています。外気の温度が15℃位になりましたら、ヒーターボタンをON(3秒以上長押し)にしてください。絶えず分解処理槽内の水温が30～38℃を保つようになっております。

ヒーターランプの表示

～44℃　→　青色点灯　　45℃～　→　赤点滅

※バイオシャワーの残量を②で定期的に確認して下さい。(使用開始から約1年間ご使用いただける量が内蔵されています。)

バイオシャワーがなくなり、そのまま長期間使用していると、生ゴミの分解ができなくなり、トラブルの原因になります。専用のバイオシャワー以外は使用しないで下さい。

※装置の主電源スイッチは分解処理槽の裏側上部に取り付けれられています。

※パネル②③④⑤⑥が赤色表示になりましたら、維持管理契約先に連絡してください。

この事項は非常に大切なことですので、必ず実行して頂きますようお願い致します。

メ ン テ ナ ン ス

バイオシャワー

バイオシャワーの残量を定期的に確認して下さい。

・バイオシャワーがなくなり、そのまま長期間使用していると、生ゴミの分解ができなくなり、トラブルの原因になります。

・年1回のメンテナンス時にバイオシャワーを補充しますが、残量が200cc以下になった場合、パネル②が赤色で表示されます。早めに維持管理契約先にご連絡下さい。

バイオシャワー・・・約1年分(2200ccが内蔵されています。)
バイオシャワーは安全無害な微生物です。

ご使用上の注意
- 高温、高湿、直射日光を避けて、暗く涼しい場所に保管して下さい。
- 安全無害ですが、誤って飲んでしまった場合は、多量の水を飲んで下さい。

家庭用品品質表示に基づく表示

品名	生ゴミ分解用微生物製剤
成分	バクテリア・酵素
用途	生ゴミ分解促進剤

メンテナンス

専門技術者による1年に1回の定期点検

お客様にいつも最良の状態で本製品をお使い頂くため、1年に1回の定期点検を実施させていただきます。定期点検の時期が近づきましたら、維持管理契約先からご連絡いたしますので、ご都合の良い日に必ず定期点検を受けて下さい。

☆ 引越し又は取り外しの際は維持管理契約先、販売店又は施工業者にご連絡して下さい。
現在流し台に付いている排水トラップは、きれいに洗い乾燥の上保管しておいて下さい。

故障かな・・・？と思ったときは

修理・メンテナンスをする前にお客様が出来るチェックポイント

こんな時は	チェックポイント	対　処
Q1 ディスポーザーが作動しない または、運転中停止した	①電源プラグが外れている。 ②金属類やプラスチック等が落ちていて回転盤に食い込んでいるのでは？ ③多量の生ゴミを投入したため負荷がかかり過ぎたのでは？ ④分解処理槽のヒューズは？	①電源プラグを正しく差し込んでください。 ②電源プラグを抜き、スプラッシュガードを外し落下物を取り除いて下さい。 ③ディスポーザーの下部にあるリセットボタン（赤色）が作動し、ディスポーザーが動かない場合は、リセットボタンが凸状になっているので、ボタンを押し込み電源プラグを入れ、テストして下さい。（P10参照） ④ヒューズ切れの場合、ヒューズの交換が必要です。維持管理契約先に連絡してください。
Q2 流しの下で 水漏れがある	①ディスポーザーの取付部（シンクの流し口のすぐ下）からでは？ ②ディスポーザーと分解処理槽の接続部分からの水漏れ？	①シンク下のディスポーザーの締め付けがゆるくなっている可能性があります。強く締めて下さい。 ②接続部分のナットの締め付けががゆるくなっている可能性があります。強く締めて下さい。
Q3 水はけが悪い	①流し台に水が溜まったまま少しずつ排水している ②排水されず溜まったままの状態	①ディスポーザーの底部に玉ねぎの薄皮やビニール状のものが貼りついていないかを調べて下さい。付属のラバーカップを使用してみてください。 ②ディスポーザーを回しながら多量の水を流してみて下さい。 シンク排水口まで水が溜まった状態で、付属のラバーカップを使用して上から数回圧力を掛け詰まったゴミを押し流します。
Q4 ディスポーザーの破砕音がいつもと違う	①いつもの回転音と異なり重い回転音がしている ②いつもの音がしたり、急に重い音がしたりの繰り返し	①輪ゴム、楊枝、プラスチック類、金属類などが絡まっているのが主な原因と思われます。電源プラグを抜き、ディスポーザー内底部を良く調べて再度使用してみて下さい。 ②ディスポーザー内底部の回転盤をドライバー等で左右に力強く回転させてみてください。
Q5 異常な高音がする	①空転時にも生ゴミ投入後にも異常高音がする ②空転時だけ異常高音がする	①金属類などが噛み込んでいる可能性があります。Q4と同様の方法で調べて下さい。 ②ディスポーザー内底部の回転盤をドライバー等で左右に回転させて下さい。
Q6 悪臭がする	①流し台の下で悪臭がする ②生ゴミ投入口から悪臭がする。	①分解処理槽は悪臭が出ないよう機密性を保った設計がされています。 接続部分のナットの締め付けががゆるくなっている可能性があります。強く締めて下さい。 ②生ゴミがまだディスポーザー内に残っているようなら水を流しながらディスポーザを作動させて流してください。
Q7 誤って生ゴミと一緒に洗剤を流してしまったら	気が付いた時点で、台所桶いっぱいの水（約10ℓ）を、ディスポーザーを回しながら流してください。これで分解処理槽内の洗剤が入った水ときれいな水が入れ替わります。中のバイオも流出してしまったので、電源ボタンのON・OFFを2～3回繰り返し押してください。バイオが分解処理槽内に注入されます。これで通常通り使えるようになります。	

※上記をお試しいただきトラブルが改善されない場合は、維持管理契約先へご連絡してください。

ディスポーザーのリセット

作動中のモーターの停止

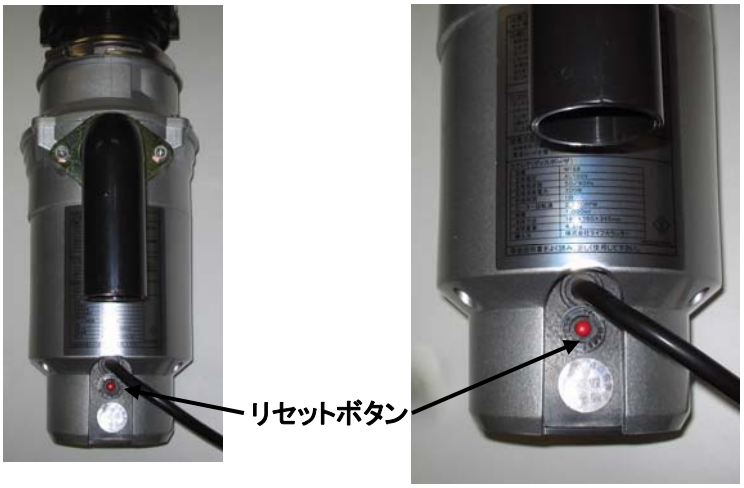
ディスポーザーのモーターに負荷が掛かりすぎた場合、安全装置が働きます。まず、過負荷の原因を調べます。
破砕できない異物が混入している可能性があります。
安全に作業する為にも必ず電源プラグを抜き、割り箸などで異物を取り除いてください。5分ほど静置した後に、ディスポーザーの側面下部にある赤いリセットボタン（下図参照）を押してください。その後、電源プラグを入れて下さい。
それでもまだディスポーザーが動かない場合には、維持管理契約先にご相談下さい。

異物が混入すると、ディスポーザーに詰まりが生じることがあります。詰まりを取り除くにあたっては、思いがけない怪我を避ける為に必ず以下の手順に従って下さい。

リセット手順

1. まず電源プラグを抜きます。
2. 割り箸などを使用し、異物を取り除いて下さい。
3. ドライバーなどを使い、ディスポーザー内底部の回転盤を左右に回転させて下さい。
4. ディスポーザーのモーターが冷えるまで4～5 分待ってから赤いリセットボタンを押します。

ディスポーザー内底部回転盤



※　安全のため赤いリセットボタンを押す前に、電源プラグが抜けていることを確認して下さい。

仕　様

製造元	株式会社　ライフカウンター
バイオ剤	有機分解液体バイオ
バイオ添加方法	ポンプによる自動供給方式
装置設置場所	シンク下収納スペース／屋外BOXを使用しての屋外設置
生ゴミ処理能力	ディスポーザーに投入前で、1日最大1.5kg
処理対象物	ディスポーザーで破砕可能な一般生ゴミ（P4参照）
バイオ媒体材	特殊スパイラルボール
加温装置	分解処理槽内底部に装着
標準攪拌時間	回転ドラム　正回転2分→停止4分→逆回転2分の継続
酸素供給装置	エアーポンプ　2.000cc/分
分解処理槽材質	分解処理槽　ABS　　回転ドラム　SUS304
電源	AC100V（50/60Hz）
装備機器消費電力	ディスポーザー　100V　50/60Hz　300W 分解処理槽　　100V　50/60Hz　30W
装置本体寸法	ディスポーザー　（H345×W140×D156mm） 分解処理槽　　（H430×W317×D402mm）
重量	ディスポーザー　4．2　kg 分解処理槽　　13．3kg

◇製品をより良くするため、仕様・外観は予告なしに変更する場合があります。

保証・アフターサービスについて

1 保証書 （別添）

保証書は必ず「お買い上げ日、お名前、住所」などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みの後大切に保管して下さい。

保証期間 ― お買い上げの日から1年間

2 修理依頼

P7、P9、P10に従って調べていただき、なお異常があるときは、必ず電源プラグを抜いてから販売店又は維持管理契約先にご連絡下さい。修理には専門の技術が必要です。

保障期間中は

保証書の規定に従って、当社が修理させていただきます。
保証書を添えて購入された販売店へお申し付け下さい。

保証期間が過ぎているときは

お申し出により有料で修理させていただきます。
購入された販売店へお申し付け下さい。

出張料金・料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料 ・・・ 故障した商品を正常に修復させるための料金です。
部品代 ・・・ 修理に使用した部品代金です。
出張料 ・・・ お客様宅へ技術者を派遣する料金です。

移転等の対応について

移転時に新たな住居への付け替えをご希望の方は、販売店へご連絡下さい。
ご希望により有料で対応させていただきます。

保 証 書

品名 ラクレア　　型番 LC13－M188

対象部	・ディスポーザー　・分解処理槽 ・排水配管部（キッチン内配管立ち上げ位置まで）
保証期間	お買い上げ日より１年間
お買い上げ日	平成　　年　　月　　日
販売店名 **住所** **電話番号**	
工事担当者	

＜保証規定＞

１ 取扱説明書の注意に沿った正常な使用状態で故障した場合
２ 保証期間内に故障して無料修理を受けられる場合、本書を添えて販売店に送付して下さい。
３ 保証期間内でも次の場合は有料修理となります
（イ）取扱説明書と異なった方法でご使用になり故障した場合
（ロ）処理できないものを投入して故障した場合
（ハ）使用上の誤り及び装置の分解や改造、修理による故障及び損傷
（ニ）お買い上げ後の落下等による故障及び損傷
（ホ）火災・地震・水害・落雷、その他の天災地変、異常電圧による故障及び損傷
（ヘ）一般家庭（購入者宅）以外に使用された場合の故障及び損傷
（ト）お客様がお住まいの、下水道管理当局の指示による年1回の定期保守点検を拒否された場合
（チ）本書の提示がない場合
（リ）本書にお買い上げ年月日、販売店名、工事担当者名、お客様名、住所等の記入がない場合、あるいは故意に字句を書き替えられた場合
４ 本書は日本国内においてのみ有効です
５ 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管して下さい
６ 無料修理やアフターサービス等について、ご不明な場合はお買い上げの販売店にお問い合わせ下さい

この保証書をお受け取りになる時に、お買い上げ年月日、販売店名及び工事担当者名が記入してあることを確認して下さい。